

平成 7 年にスタートしたボランティアグループ「飛鳥里山クラブ」は、飛鳥に育まれた里山（甘檜丘がフィールド）を美しく保つために汗を流すなど、飛鳥・里山をたっぷり楽しみ、その魅力を広く伝えていくことを目的としています。

国営歴史公園で毎年 2 月ごろにボランティア養成講座の応募を受け付けています。4 月から 3 月まで、年 21 回の講座を受講していただき、ボランティアに翌年から参加していただいています。残念なことに今年はコロナウイルスで講座をなかなか開催できずにいました。

今回 10 月 15 日にクラフトサークルの講座をクラフトサークル員の指導のもと 26 期生の講座を実施しました。

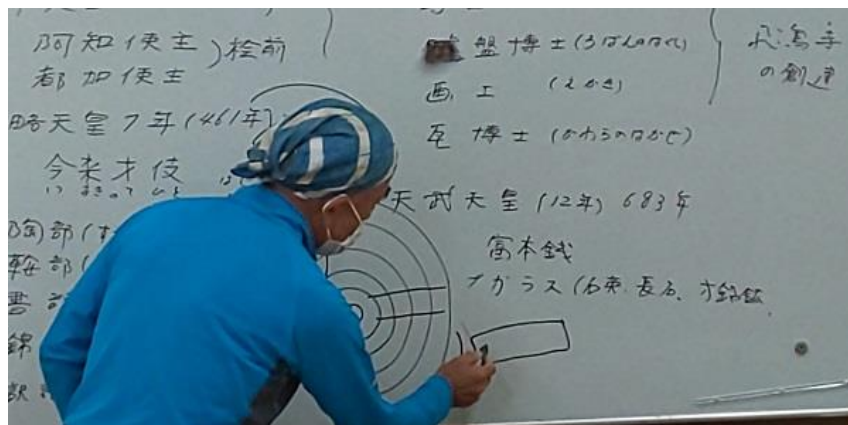
9 名の 26 期生の参加がありました。サークルの活動の説明の後サークル員の方から工作を楽しむための基礎知識として道具や歴史について説明がありました。



窓も全開での講義でした。室内には定員 24 名となっていたのでスタッフも 6 名



昨年この講座を聞きましたが本当に素晴らしい。参考になるお話しです。



上の写真は材木をどのように切ると板目、柃目、心持ちになるかという説明をされています。道具もご自分の道具を沢山おもちくださいました。それぞれどんなふうにするかも丁寧にお話しくださいました。永六輔さんの尺貫法の復権運動のお話し等もありました。



今年はまず右のようなポストカードやメモスタンドを作ってくださいました。



他にも色んな作品を展示して参考にしてもらいました。



今年の干支のネズミもあります。



道具や材料を並べました。



他に色んな色の糸やリボン、マジックも用意しています。



この綺麗な色の実は何ソカズラの実です。



材料にドリルで穴を開け始めました。初めてドリル使う方もいました。
スタッフのサークル員が側で指導しました。



あらあらせっかちですね。

それぞれの机で作業せずに道具や材料のそばで作業しています。



そろそろできてきましたよ。



可愛いですね。楽しいですかとお聞きしたら、はい！て返事が。嬉しいです。
この方は二つ目に挑戦。



口のピスタチオが固まるまで爪楊枝で固定してます。
可愛い



そろそろ皆さんできてきました。さっきのヘクソカズラも使われていますね。





全員の作品を並べてみました。楽しかったようです。
クラフトサークルでの活動へぜひ参加してください。お待ちしております。

